

播磨設備株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 7月～2024年 6月)



エコアクション21
認証・登録番号0005280

発行日：2024年7月31日
改定日：2025年1月21日

I. ごあいさつ

播磨設備株式会社は、昭和39年の設立以来、土木・管・水道施設工事業プロパンガス・灯油の販売を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、企業理念である

- (1) 顧客の信用を裏切らないサービスの徹底。
- (2) 環境問題を真剣に考え、保全・改善への意欲的な取り組み。
- (3) 従業員の資質を高め、常に品質向上を目指す。

上記に基づいて、各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。そのための環境経営システムを維持し、継続的に改善していきます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油、)
3. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
4. 水使用量の削減を推進します。
5. 環境に配慮した施工を推進します。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日 2009年10月26日

改定日 2020年2月27日

代表取締役会長 山口 潤一

II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
播磨設備株式会社
代表取締役会長 山口 潤一
- (2) 所在地
本社・第1倉庫 〒675-0144 兵庫県加古郡播磨町北本荘3丁目4-14
第2倉庫 〒675-0144 兵庫県加古郡播磨町北本荘3丁目8-11
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 専務取締役 TEL:079-437-8254
担当者 事務局 FAX:079-437-2703
E-Mail: yamamoto@harima-setsubi.co.jp
- (4) 事業内容
土木工事・管工事・水道施設工事・電気工事業の設計、施工・プロパンガス・灯油の販売
許可番号 兵庫県 (特-27)第401341号 許可年月日 令和3年1月7日
許可番号 兵庫県 (般-2)第401341号 許可期限 令和8年1月19日

(5) 事業の規模

売上高 4億9000万円 (2023年度実績)

各事業所の規模

| | 本社・第1倉庫 | 第2倉庫 | 合計 |
|-------|---------|---------|----------|
| 従業員 | 20名 | 無人 | 20名 |
| 延べ床面積 | 401.11㎡ | 250.76㎡ | 651.87㎡ |
| 敷地面積 | 782.99㎡ | 888.88㎡ | 1671.87㎡ |

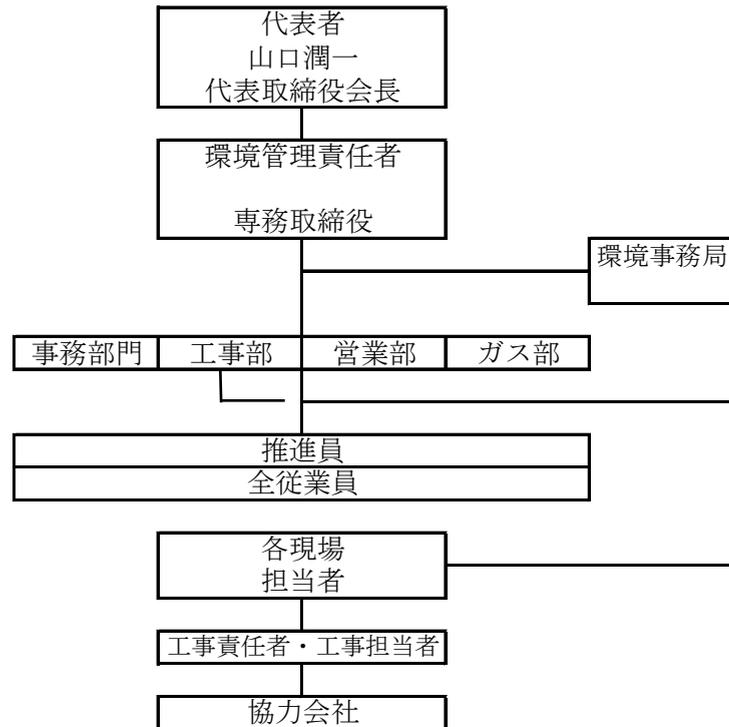
(6) 事業年度 7月～翌年6月

(7) 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 播磨設備株式会社
対象事業所: 本社・第1倉庫、第2倉庫

活動: 土木工事・管工事・水道施設工事・電気工事業の設計・施工、
プロパンガス・灯油の販売

Ⅲ. 実施体制



| | 役割・責任・権限 |
|------------------|---|
| 代表者(社長) | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認 課題とチャンスの明確化 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） 環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付) |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 工事責任者 (現場代理人) | <ul style="list-style-type: none"> 建設現場における環境経営システムの実施 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

IV. 主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2010年度 基準年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|----------|--------------------|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ | 60,891 | 43,669 | 45,948 | 45,263 | 46,112 | 47,179 |
| 電力使用量 | kWh | 63,468 | 32,279 | 36,460 | 39,879 | 41,646 | 38,810 |
| ガソリン使用量 | L | 14,886 | 10,944 | 11,667 | 11,697 | 12,005 | 12,279 |
| 軽油使用量 | L | 1,999 | 2,906 | 2,598 | 1,863 | 1,686 | 2,221 |
| 廃棄物排出量 | kg | | | | | | |
| 一般廃棄物 | kg | 実績不明 | 3,369 | 3,948 | 2,488 | 2,844 | 3,288 |
| 産業廃棄物 | t | 66 | 52 | 58 | 32 | 45.9 | 37.4 |
| 水使用量 | m ³ | 502 | 418 | 233 | 233 | 202 | 206 |

注) 化学物質は使用しない

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

| 項目 | 年度 | (基準年度) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----------------------|---------------------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | | | | | |
| I. 二酸化炭素 排出量削減 | kg-CO ₂ | 60,891 | 56,336 | 55,727 | 55,118 | 54,509 |
| | 対基準 | (2010) | △7% | △8% | △9% | △10% |
| 電力使用量削減 | kWh | 63,468 | 54,582 | 53,948 | 53,313 | 52,678 |
| | kg-CO ₂ 対基準 | 21,198 (2008) | 18,231 △14% | 18,019 △15% | 17,807 △16% | 17,595 △17% |
| ガソリン 使用量削減 | L | 14,886 | 14,291 | 14,142 | 13,993 | 13,844 |
| | kg-CO ₂ 対基準 | 34,536 (2010) | 33,154 △4% | 32,809 △5% | 32,463 △6% | 32,118 △7% |
| 軽油 使用量削減 | L | 1,999 | 1,919 | 1,899 | 1,879 | 1,859 |
| | kg-CO ₂ 対基準 | 5,157 (2010) | 4,951 △4% | 4,900 △5% | 4,848 △6% | 4,796 △7% |
| II. 廃棄物排出量削減 | | | | | | |
| 1) 一般廃棄物 削減 | kg | 1,937 | 1,898 | 1,879 | 1,879 | 1,879 |
| | 対基準 | (2017) | △2% | △3% | △3% | △3% |
| III. 建設リサイクル率 の向上 | % | 91.6% | 92.0% | 92.0% | 92.0% | 92.0% |
| | 対基準 | (2017) | (+0.4%) | (+0.4%) | (+0.4%) | (+0.4%) |
| IV. 水使用量 削減 | m ³ | 517 | 445 | 439 | 434 | 429 |
| | 対基準 | (2008) | △14% | △15% | △16% | △17% |
| V. 環境に配慮した 施工の推進 | 件 | 実績不明 | 実績不明 | 実績不明 | 3 | 4 |
| | 対基準 | | | | | |

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)2018年度調整後係数 0.334kg-CO₂/kWh を使用。

(2) 取組期間の実績

| 項目 | 年度 | 基準 (年度) | 取組期間における実績 (2023年7月～2024年6月) | | | |
|----------------------|--------------------------------|------------------|---------------------------------|---------------------------|------------------|---------------|
| | | | 目標 | 実績 | 達成度 | 評価 |
| | | | I. 二酸化炭素 排出量削減 | kg-CO ₂ 対基準 | 60,891 (2010) | 55,118 △9% |
| 電力使用量削減 | kWh | 63,468 | 53,313 | 38,810 | 137% | ○ |
| 排出係数 0.334 | kg-CO ₂ 対基準 | 21,198 (2008) | 17,807 △16% | 12,963 △34% | | |
| ガソリン 使用量削減 | L kg-CO ₂ 対基準 | 14,886 (2010) | 13,993 △6% | 12,279 △19% | 114% | ○ |
| 軽油 使用量削減 | L kg-CO ₂ 対基準 | 1,999 (2010) | 1,879 △6% | 2,221 △16% | 85% | × |
| II. 廃棄物削減 | | | | | | |
| 一般廃棄物 削減 | kg 対基準 | 1,937 (2017) | 1,879 △3% | 3,288 47% | 57% | × |
| III. 建設リサイクル率 の向上 | % 対基準 | 91.6 (2017) | 92.0 (+0.4%) | 72.5 26% | 78.8% | × |
| IV. 水使用量 削減 | m ³ 対基準 | 517 (2008) | 434.3 △16% | 206 △60% | 211% | ○ |
| V. 環境に配慮した 施工の推進 | 件 対基準 | 実績不明 (2022) | 3 | 3 | 100% | ○ |

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 建設リサイクル率の実績＝再資源化量（27,150kg）／産業廃棄物発生量（37,440kg）

注4) 環境に配慮した施工：環境に配慮した施工及び製品の提案（エネルギー効率の高い設備機器・節水型の設備機器）

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取り組み計画 | 達成状況 | 評価結果と次年度の環境経営計画 |
|----------------------------|------|---|
| 二酸化炭素排出量の削減 (目標達成) | | |
| (下記の通り) | | (下記の通り) |
| 電力使用量の削減 (目標達成) | | |
| ・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃) | ◎ | 一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。 |
| ・サーキュレーターを設置 | ◎ | 頻繁に使用する部屋に設置できた。 |
| ・不要照明の消灯 | ◎ | 階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。 |
| ・設備の空運転禁止 | ◎ | 昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。 |
| ガソリン使用量の削減 (目標達成) | | |
| ・アイドリングストップ | ◎ | もっと意識をシエコドライブを実行する。 |
| ・急加速・急停車の防止 | ○ | 普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 |
| ・効率的な移動 | ◎ | もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。 |
| 軽油使用量の削減 (目標未達成) | | |
| ・重機の空ふかしの禁止 | ○ | もっと意識をシエコドライブを実行する。 |
| ・アイドリングストップ | ○ | 普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 |
| ・空気圧、オイル等の点検 | ◎ | もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。 |
| 一般廃棄物の削減 (目標未達成) | | |
| ・実態調査 | ◎ | 一般廃棄物を排出する前に、廃棄物の重さを計上す事。 |
| ・分別の徹底 | △ | 分別の徹底、コンテナに一般廃棄物を捨てない事。 |
| ・リサイクル推進 | △ | 再利用の推進 次年度も左記取組を継続する。 |
| 建設リサイクル率の向上 (目標未達成) | | |
| ・分別によるリサイクル推進 | △ | 分別の徹底、コンテナに一般廃棄物を捨てない事。 次年度も左記取組を継続する。 |
| ・仮設資材の再利用の推進 | △ | 資材の使用後、点検・清掃して、再利用の推進。 |
| 水使用量の削減 (目標達成) | | |
| ・節水の周知徹底 | ◎ | 節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。 |
| ・節水シールの貼付とポスター掲示 | ○ | 簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。 |
| ・清掃時・手洗い時の節水 | ○ | より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。 |
| 環境に配慮した施工の推進 (目標達成) | | |
| ・工事分野別の技術・ノウハウの収集 | ◎ | ICTの活用(3D CAD他) |
| ・環境配慮した製品の導入提案 | ◎ | 次年度も左記取組を継続する。 |

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 遵守する事項 | 遵守評価 |
|-----------------|--|------|
| 廃棄物処理法 | 保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出 | 遵守 |
| 建設リサイクル法 | 建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務 | 遵守 |
| 建設業の再生資源利用省令 | 再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成 | 遵守 |
| 大気汚染防止法 | 特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守 | 遵守 |
| 自動車NOx・PM法 | 規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止 | 遵守 |
| 騒音規制法 | 特定建設作業の届出、規制基準の遵守 | 遵守 |
| 振動規制法 | 特定建設作業の届出、規制基準の遵守 | 遵守 |
| オフロード法 | 基準に適合した特定特殊自動車の使用 | 遵守 |
| 低騒音・低振動型建設機械の規程 | 低騒音・低振動型建設機械の使用の促進 | 遵守 |
| 消防法 | 消火設備の点検整備、 (危険物取扱所)設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存 | 遵守 |
| 加古川市火災予防条例 | 火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、 | 遵守 |
| フロン排出抑制法 | フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理 | 遵守 |
| 家電リサイクル法 | 特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し | — |
| 自動車リサイクル法 | 使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し | — |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今期のエコアクション21の取り組みの結果では、燃料使用量及び廃棄物排出量の削減事項が未達成でしたが、受注件数と比例しての増加のため適正と判断しました。しかし、エコアクション21での活動は環境問題への取り組みに直結する重要な活動であるため、継続し全社員とともに徹底して取り組み、活動内容を関係会社へ共有し啓発活動を進めることにより来期の活動結果が向上するよう努力します。

| 項目 | 見直しの要否 | 見直し内容 |
|------------------|--------|-------|
| 環境経営方針 | 否 | — |
| 環境経営目標 環境経営計画 | 否 | — |
| 実施体制 | 否 | — |
| その他 | 否 | — |

2024年 7月 19日
代表取締役会長 山口 潤一